

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	腎移植後の合併症と性格の関係			
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院で腎移植を受けた患者			
3. 対象となる期間	委員会承認日 ~ 31年 3月 31日			
4. 実施診療科等	神経精神医学講座			
5. 研究責任者	氏名	古郡規雄	所属	弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	弘前大学医学部附属病院 泌尿器科 畠山真吾			
7. 研究の意義	腎移植をうけ、順調な経過をたどると、腎臓の機能はほぼ正常に回復します。しかし、約30%の確率で拒絶反応が生じます。拒絶反応予防として免疫抑制剤を使用しますが、副作用として感染症が発生します。今回、われわれは治療成績を左右する因子として、性格がかかわっているのではないかと考えました。特定の性格が見つければ、その後の診療の方法を変えることもでき、よりきめ細やかな診療に発展する可能性があります。			
8. 研究の目的	性格と腎移植後の拒絶反応の有無や感染症の有無との関連を検討し、リスクとなる性格傾向を同定する			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	移植前に神経科精神科を受診した時に行った性格検査(TEG)や抑うつ度検査(POMS)の結果を、また年齢、性別、疾患名、罹病期間に加え、移植手術後の経過で拒絶反応や感染症の有無を泌尿器科の診療録から収集します。			
10. 個人情報の保護	データは匿名化(氏名等を削除し、この研究のための識別符号を付与)され、データセンターに提供されます。また、対応表については本院の研究責任者である附病弘その他一部の関係者以外アクセスできないパソコン中に保管・管理します。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者は、大日本住友製薬株式会社と持田製薬株式会社より講演料を受領しています。しかし、これは業務に対する正当な対価としてであり、本課題の資金源としてではありません。この研究には利益相反状態にある団体はありません。本研究は神経精神医学講座の研究チームにより公平・公正に実施されます。また、本研究の利益相反については、大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会に届け出ております。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座 古郡規雄			
	電話	0172 -39-5066	FAX	0172- 39-5067

提出先: 医学部附属病院総務課総務グループ(総務・広報担当) mail: jm6453@hirosaki-u.ac.jp

※ 事前に大学院医学研究科倫理委員会の審査を経て許可されている必要があります。

(許可通知の写しを添付のこと)